

■平成24年度第25回（第213回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 平成24年12月19日（水） 午後3時00分～午後4時45分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、小林副市長、木下副市長、教育長、審議監、技監、総務局長、
財政局長、行財政改革推進本部長、理事（秘書・総合調整担当）、
総合政策監、市民・スポーツ文化局長、都市局長、大宮区長

【議 題】 （1）大宮区役所新庁舎への導入機能等について

< 提 案 説 明 >

大宮区役所新庁舎への導入機能等について、市民・スポーツ文化局、都市局、大宮区役所から次のとおり説明があった。

- ・はじめに、大宮区役所の建て替えに関するこれまでの経緯については、耐震診断の結果、建物の耐震性能としては、震度6強規模の地震が発生した場合、倒壊又は多くの階で崩壊する危険性が高いとのことであり、耐震改修では現状の執務空間の確保は困難であること。昭和41年の建築で、建物の老朽化により、耐震改修後も早期に建て替えが必要となることなどから、震災時における市民、職員の安全確保、防災拠点としての耐震性の確保、バリアフリー化、耐用年数を60年と想定した場合のライフサイクルコストの比較検証など、さまざまな視点から検討した結果、建て替えとの結論に達した。
- ・次に、建て替えの位置については、大宮駅周辺地域戦略ビジョンに位置付けのある「大宮駅東口駅前周辺に形成する駅前賑わい拠点」又は「市民会館おおみや周辺に形成する地域連携拠点」の2つのエリアの中で、さいたま市建築物耐震改修促進計画の期限である平成27年度末までに、周辺の老朽化した施設を再編・集約して新築建て替えすることと決定し、平成24年5月9日に公表した。
- ・公共施設の再編・集約に当たり、関係する局長級等で構成する大宮駅周辺公共施設再編推進本部を設置し、大宮区役所庁舎の建て替え位置や公共施設再編の方向性等について検討を進め、市民アンケートや懇談会の意見を踏まえ、平成24年8月の都市経営戦略会議において、大宮区役所新庁舎を県大宮合同庁舎敷地へ移転することを決定した。
- ・次に、埼玉県との協議状況であるが、県大宮合同庁舎敷地は大宮区役所別館敷地との土地交換、差額の金銭精算、県大宮合同庁舎の機能保障により県と協議を進めることが、平成24年10月24日に開催された都市経営戦略会議で了承された。

- ・その後、埼玉県からは、県大宮合同庁舎の機能保障として、大宮区役所別館の改修、防災無線アンテナの移設、移転経費の保障、県大宮合同庁舎の解体などが条件として提示され、その費用は、概算で約25億円となっている。
- ・市からは、土地交換を行うことや、それぞれの建物を譲渡することなどを盛り込んだ基本協定書や確認書を締結することを埼玉県に提示しているが、現時点では了解を得られていない状況であり、耐震化の目標年次である平成27年度までの竣工となると、時間的な余裕がないため、引き続き、埼玉県へお願いをしていきたいと考えている。
- ・次に、市議会からは、平成24年9月定例会で、大宮区役所庁舎の建て替えと公共施設再編についての質問があり、これまでの経緯と区役所庁舎への導入機能については、公共施設マネジメント計画を踏まえて施設の適正化、機能の複合化を図るとともに、市民の利便性向上、業務効率の向上、機能配置上の必然性、まちづくりへの寄与、費用対効果等の視点から、現区役所庁舎内の既存機能について再検討を行い、併せてさまざまなご意見も踏まえ、区民の方々に親しまれる、より魅力的な機能の導入についても検討する」旨、市長が答弁している。
- ・さらに、平成24年12月定例会では、大宮区役所の建て替えについての質問があり、「県大宮合同庁舎敷地と市有地の交換は、県大宮合同庁舎の機能を確保しつつ、議会での理解を得ながら進める」と市長が答弁している。
- ・次に、大宮区役所新庁舎への導入機能についてであるが、まず、地域連携拠点の基本的な考え方として、大宮駅前やさいたま新都心周辺からの人の流れを創出し、地域の回遊性を向上させること、公共施設の集積や公共機能の充実、まちの魅力となる施設や空間の創出を行うこと、まちづくりに活用できる土地を生み出すこと、環境負荷の低減に積極的に取り組むとともに、氷川参道沿道にふさわしい環境整備と景観形成を行うこととしている。
- ・また、拠点整備の方向性は、公共施設の集約に合わせて市民の利便性や拠点の魅力向上する機能導入を図ること、市民の憩いの場の創出や防災機能強化を図るため、山丸公園と一体的なひろば整備を行うこと、氷川緑道西通線は東口の地区内幹線道路として整備を推進すること、氷川参道の歩行者専用化及び沿道の利便性や街区の土地利用向上に向け、必要に応じ、道路の新設を行うこと、おもてなし歩行エリアの確保に向けて、駐車機能の強化を行うこと、施設整備については、さいたま市環境基本計画などに基づき、計画の初期段階から環境への配慮を行うこととしている。
- ・導入機能については、市民の利便性の向上、業務上の関連性、機能配置上の必然性、拠点性の向上、費用対効果という5つの視点と、公共施設マネジメント計画における「施設の実態を踏まえ、機能重視型、ネットワーク型に転換するマネジメント」と、地域連携拠点の基本的な考え方や拠点整備の方向性を踏まえて、検討を行った。
- ・具体的には、北部建設事務所、北部都市・公園管理事務所については、管轄地域内への設置、また、両事務所が連携して行う業務も多く一体的に設置する必要があること。また、施設規模が大きく費用対効果の面からも複合化するメリットが

大きく、新庁舎への導入が望ましいと考えた。

- ・ 障害者更生相談センターについては、市立病院やひまわり学園との併設についても検討したが、困難との結論であった。また、市内唯一の障害者更生の専門機関であり、全市からのアクセス性が求められるとともに、大宮駅から離れた場合は、専門医の確保も危惧される。さらに、民間施設への移転は、規模も大きく、コスト面からも賃料の高い大宮駅周辺で確保することは困難であることから、新庁舎への導入が望ましいと考えた。
- ・ 大宮駅東口まちづくり事務所については、区役所等と連携して行う業務は少ないものの、大宮駅東口のまちづくりを進める上で、地域内に設置することが必要であり、コストの面からも民間ではなく、新庁舎への導入が望ましいと考えた。
- ・ 大宮駅西口まちづくり事務所については、まちづくりの面からは、新庁舎よりも地権者などに近い地域にあることが望ましい。市が所有するJACK大宮内の子育て支援センターおおみやが、来年度、大宮駅西口に整備されるのびのびプラザに移転するため、その跡地への移転が望ましいと考えた。
- ・ 氷川参道対策室については、区役所と区民が連携して清掃活動や植樹などのイベントを行っており、新庁舎への導入が望ましいと考えた。
- ・ 日進・指扇周辺まちづくり事務所については、権利者の対応を考えた場合、所管地区内にあることが望ましい。また、平成27年度までに指扇まちづくり事務所との統合を予定していることから、前倒しで統合し、所管地区内へ移転すべきと考える。大宮駅周辺地区と比べると賃料の面でも有利であるほか、日進地区内にあるさいたまソフトウェアセンタービルへの移転も含めて検討することが望ましいと考える。なお、さいたまソフトウェアセンタービルの活用方法については、現在、経済局が検討していると聞いており、今後、調整を図っていきたいと考えている。
- ・ 市民税課分室については、市民税の当初賦課の処理を行うため、例年12月から6月にかけて使用しているが、市民の利用もなく、区役所との関連性もないことから、新庁舎へ導入する必然性はない。ただし、まとまったスペースが必要であることから、日進・指扇まちづくり事務所と合わせて、さいたまソフトウェアセンタービルへの移転を含めて、賃料が比較的低い地域への移転を検討することが望ましいと考えた。
- ・ 国民健康保険課レセプト室については、平成25年度に組織改正し、課内室から係となる予定であることから、現在、国民健康保険課が入居する、ときわ会館への移転を検討する。
- ・ 再編対象の大宮図書館については、耐震性は確保されているが、施設や設備の老朽化やバリアフリーの面で課題を抱えている。これらの改善には億単位の費用が見込まれ、公共施設マネジメント計画の観点から新庁舎への複合化は合理的である。また、夜間、休日にも市民等の利用が多い施設であり、回遊性の向上などに寄与するとともに、区役所での待ち時間に利用できるなど、区役所との連携も可能であることから、新庁舎への導入が望ましいと考えた。ただし、現在置で利用している市民等の理解を得るため、十分な説明を行う必要がある。また、大宮の

特性や時代のニーズを踏まえた特色のある図書館機能を検討する必要があると考えている。

- ・ その他として、老人福祉や子育て支援、青少年の居場所、休憩・休息機能、公文書保管施設、市立博物館について、新庁舎への導入を検討したが、老人福祉機能、子育て支援機能については、大宮区では充足しており、他の地域とのバランスからも導入は困難である。しかし、地域連携拠点の形成ということを考えれば、人が集まる機能の導入も必要であるため、ふれあいスペースとして多目的に活用ができる機能の導入を基本計画を策定する中で検討していきたいと考えている。
- ・ また、休憩・休息機能については、区民や観光客が利用できるスペースとなることから地域連携拠点として、賑わいの創出、回遊性の向上に寄与できるよう基本計画策定の中で検討していくこととする。
- ・ 公文書館機能については、歴史的な資料として公文書を保管し、公開しており、年間に600点ほどの市民利用があるが、機能面から博物館との関連性が高い。一方、市立博物館は老朽化やバリアフリーなどの課題を抱え、また、手狭なために魅力ある施設とするには規模を拡大する必要があることから両者を複合化して整備することが良いと考えている。しかしながら、区役所新庁舎へ導入するには規模も大きく、また、新たな魅力という点で構想検討に時間を要することから、市民会館おおみやの機能が大門町2丁目中地区市街地再開発事業地内に移転した跡地を活用して整備することを検討する。
- ・ このような検討結果を踏まえた大宮区役所新庁舎の整備イメージとしては、杜のひろばを中心に大宮区役所新庁舎と博物館機能などの歴史や文化に触れあえる施設を整備し、地域連携拠点として人が集い、賑わいのある地区に整備していきたいと考えている。
- ・ また、新庁舎の施設規模としては、地上8階建て地下1階延床面積17,000平米を想定している。概算事業費は65億円程度を見込んでいる。
- ・ 整備スケジュールとしては、平成24年度中に埼玉県と協定書、確認書を締結し、並行して基本計画の策定、平成25年度に基本設計、実施設計、平成26年度、27年度の2か年で建設することを予定している。
- ・ ただし、埼玉県大宮合同庁舎の解体設計や解体工事等を伴うため、埼玉県との協定書や確認書の締結、土地交換の契約等の遅延により事業着手が遅れた場合には平成27年度末の竣工は非常に困難なものとなる。

< 意見等 >

- ・ 図書館と博物館との機能連携の視点が抜けているのではないか。
- 博物館については、施設整備の構想を作成する時間が必要であり、新庁舎の整備スケジュールにも合わない。また、新庁舎の施設規模からも新庁舎への導入は困難である。ただし、これまでと同様に一体性のある整備ができるように検討していく。

- ・ 図書館を移転させること自体が地元の方に理解されるのか。
- 当然、反対する方もいると思うが、大多数の方は図書館の移転も含めて、このリーディング事業をきっかけに大宮駅東口周辺地域が生まれ変わっていくことに大きな期待をしている。
- ・ 区役所や図書館などは、必要な施設であることは確かであるが、見方によっては箱モノの建設というように捉えられる。また、大宮にだけ整備しているという見方もある。
- 確かに箱モノの建設という見方もあるが、このまま老朽化して維持管理費、修繕費用が莫大にかかる施設を適正に再編し、将来的な負担を軽減させることにつながるための、公共施設の再編であるという大きな考え方をきちんと説明をしていかなければならないと考えている。その結果、単なる箱モノの整備ではなく、将来的な市の財政負担の軽減、まちの発展、さいたま市の魅力の向上につながっていくということが理解されるものと認識している。また、大宮にだけ整備しているのではなく、公共施設再編整備計画や公共施設マネジメント計画などにより、十分に検討した上で、必要な施設を必要な場所に整備していくということもあわせて、説明をつくしていく。
- ・ 大宮駅周辺地域戦略ビジョンにおける地域連携拠点ということを踏まえれば、単なる庁舎ではなく、付加価値をつけていかなければならない。
- 基本計画を策定する中で、そのような視点を踏まえて検討していく。
- ・ これまでも、市民を交えて庁舎の位置等を検討してきたが、ふれあいの機能などについても、市民や利用者を加えた検討委員会を早々に立ち上げて検討を進めるべきである。浦和駅東口のコムナーレも2年間かけて検討している経緯がある。
- 平成27年度までに竣工という整備スケジュールを踏まえると、2年間の検討期間を設けることはできないが、市民へのアンケートの実施や、学識経験者、市民、施設利用者、各種団体などで構成する検討委員会での検討など、さまざまな手法により、大宮の地にふさわしい庁舎を整備できるよう、市民や利用者の声を十分に聞いていきたいと考えている。
- ・ 平成27年度までに確実に整備できるのか。
- 現時点で作成している工程では可能となっている。ただし、埼玉県的所有する土地に整備するため、埼玉県の協力は不可欠である。今年度中にも埼玉県大宮合同庁舎の解体に向けた調査や設計を実施したいと考えているが、それには埼玉県と土地交換の詳細な確認書を締結する必要がある。また、議会の合意も必要であることから、十分説明をしていくこととしているが、万が一、議会や埼玉県との合意ができないなど、外的要因により、平成27年度までの竣工が困難となる可能性もある。
- ・ 現大宮区役所の位置は非常に立地の面からも良いと考えられるが、庁舎が移転した場合、跡地についてはどのように活用することを想定しているのか。
- 暫定的に民間のまちづくり支援として活用することを想定しているが、将来的には今後、地元のまちづくり団体の方や市民との意見交換や関係機関と協議した上

で、大宮駅周辺戦略ビジョンの実現に向けた活用を検討していく。

< 結 果 >

- ・ 市民・スポーツ文化局、都市局、大宮区役所発議の大宮区役所新庁舎への導入機能については、原案により進めることを了承する。

< 会 議 資 料 >

(資料1) 大宮区役所庁舎の建て替えに関するこれまでの経緯について

(資料2-1) 大宮区役所新庁舎への導入機能について

(資料2-2) 大宮区役所新庁舎への導入機能に関する検討

(資料3) 大宮区役所新庁舎の整備イメージ